

舞の海秀平さん

(大相撲解説者・スポーツキャスター)



「土俵の上で死んでもいい」そんな強い思いで大相撲への挑戦を決意しました。

「技のデパート」「平成の牛若丸」などの異名で、多くの相撲ファンを沸かせた舞の海さん。現在は大相撲解説者・スポーツキャスターとして活躍です。「ますます相撲に魅せられている」そんな熱い思いが伝わるお話を伺いました。

HEALTHY SALON

Healthy Life

ヘルシーライフ

SINCE 1984 No. 112

July 2013

挫折しては乗り越える、その繰り返しでした。
相撲との出会いはいつ頃でしたか。私の出身、青森県の鯉ヶ沢町は相撲がとても盛んな地域でした。神社の境内には土俵があつて、毎年地域の人たちによる相撲大会が開催されていたんです。小学校にも土俵があり、年に一度、学校恒例の学年別相撲大会が行われて、私は1年生、2年生、3年生の各学年で優勝しました。同年代に比べて身体が小さかった私でも勝つことができることが面白くて、相撲に興味を持ちました。そんな環境で育った私にとって、相撲はごく身近な存在だったんです。

相撲部での活動はどのようなものでしたか。
舞の海 全国大会で活躍する選手ともなると、高校生でも平均本格的に相撲をはじめたのは地元の中学校で相撲部に入ってからです。その相撲部は全国大会に出場するほどのレベルでした。高校進学の時、同期の中で強かったメンバーは、全国で相撲の強豪校と言われる地元の高校にスカウトされましたが、私は身体が小さいためか声を掛けてもらえませんでした。悔しい思いをしていたところ、隣の高校の相撲部の先生から誘いを受けて、その高校に進学が決められました。自分のような者に声を掛けてくれて、本当に有り難かったです。

相撲部での活動はどのようなものでしたか。
舞の海 全国大会で活躍する選手ともなると、高校生でも平均体重が120kgから130kgはあります。当時私の体重は68kg、ガリガリでした。ようやく3年生になって出場できたインターハイの個人戦で、私は予選落ちとなっていました。青森県は全国でも相撲の強豪県で、出場選手が準決勝、決勝に進出して当然とされています。そんな青森県代表の選手としては初の予選落ちでしたから、もの凄いいショックでしたよ。この挫折から必死に稽古をして、インターハイから一ヶ月後、全国高等学校相撲選抜大会の個人戦で準優勝することができました。

相撲部での活動はどのようなものでしたか。
舞の海 全国大会で活躍する選手ともなると、高校生でも平均体重が120kgから130kgはあります。当時私の体重は68kg、ガリガリでした。ようやく3年生になって出場できたインターハイの個人戦で、私は予選落ちとなっていました。青森県は全国でも相撲の強豪県で、出場選手が準決勝、決勝に進出して当然とされています。そんな青森県代表の選手としては初の予選落ちでしたから、もの凄いいショックでしたよ。この挫折から必死に稽古をして、インターハイから一ヶ月後、全国高等学校相撲選抜大会の個人戦で準優勝することができました。

ヘルチェックの『Web予約』が使いやすくリニューアル!

～ Webで全ての予約ができるようになりました ～

- スムーズに予約が確定
- オプション検査の追加が簡単に申し込めます
- 健診Webカルテで過去の健康状態を確認



企業・団体の方ももちろん、個人のお客さまのお申し込みにもご利用いただけます。はじめてのお客様でもすぐに予約が可能です。



胃がんリスクを判定する『ABC検診』のご案内

ABC検診ってどんな検査?

“ABC 検診”とは、血液検査だけで、胃がんになるリスクを判定できる検査です。ピロリ菌の感染検査と萎縮性胃炎を調べるペプシノーゲン検査によって、胃がんのリスクをA,B,C,Dの4タイプに分類します。

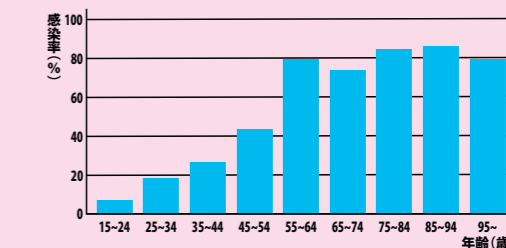
- 検査料: 5,250円 (税込)
- ※健康保険組合等の補助が利用できる場合がございます。詳しくは予約センターまでお問い合わせください。
- いつもの健診に追加して、気軽に検査ができます。
- ご希望の方は予約時または当日お申し出ください。(Web 予約も可能です)

※この検査は胃バリウム検査や内視鏡検査のように直接胃がんを見つける検査ではありません。検査結果を踏まえ、必要に応じてさらに詳しい検査をおすすめします。

ピロリ菌についてご存知ですか?

胃に生息する細菌で、正式名はヘリコバクター・ピロリ (Helicobacter pylori) といいます。胃炎や胃潰瘍を引き起こす原因のひとつとされ、胃がんのリスクを高める細菌として、近年注目されています。ピロリ菌に感染していると、感染がない場合に比べ、**胃がんのリスクが約5倍高くなる**とされています。

ピロリ菌の年代別感染率



80代以上の方に是非おすすめします。

総合健診センター ヘルチェック

■ ご予約・お問い合わせ ■

TEL 東京 (03)3345-7766 FAX (045)441-8451 (東京・横浜共通)
 横浜 (045)453-1150 web www.health-check.jp
 (月曜～土曜 8:30～18:00・祝日も受付)
 ■ 受診日 月曜～土曜(祝日もご受診いただけます)



思いました。でも考えているうちに「このまま終わるのは負け犬じゃないか!」と悔しさが沸々と湧いてきたんです。諦めかけていた気持ちから奮起して死に物狂いで練習し、4年生になる直前の3月の大会でレギュラーに復帰させてもらいました。3年生の途中でレギュラーから外れた選手が4年生を目前にして復帰するのは稀なことでした。その大会で団体戦優勝、個人戦も3位に入ることができました。

自分自身の人生について考えさせられました。

……大相撲を目指したきっかけをお聞かせください。
舞の海 実は大学卒業後の進路として、山形県の教職の仕事が内定していました。「相撲取りになりたい」と子供の頃は憧れていましたが、高校、大学と相撲を続けていくうちに自分の実力を思い知らされ、次第に現実的な道を考えるようになっていきました。ところが卒業を控えた1月に、後輩の相撲部員が合宿所で昼寝をしていて突然亡くなるという出来事がありました。その部員は既に大相撲入りが決まっていた前途有望な若者だったんです。明るく未来に賭けていたのに、突然人生の幕を下ろされてしまった本人はさぞ悔しかっただろうなと思いました。

そして自分自身の人生についても考えさせられました。一度しかない人生、生かされているこの時間をどう生きればいいのか。自分自身と向き合い考えた結果、「大相撲への挑戦」が自分にとって生きている意味だと気が付きました。大相撲の世界に入るなんて頭の片隅にもなかったはずでしたが、やはり小さい頃の憧れ、心の奥底に引っ掛かっていたのかも知れません。「土俵の上で死んでもいい!」そんな強い思いで大相撲への挑戦を決意しました。

新弟子検査では大変苦勞されたようです。

舞の海 当時の規定に身長173cm以上という項目がありました。私の身長は169cmでしたが、大目に見てくれるだろうと高を括っていたら、不合格だったんです。大学の相撲部出身者が新弟子検査で落ちるな

の相撲が通用しないのではないかと不安の方が大きかったです。目標に向かっていて時は、十両を一場所経験したら本望だと思っていたのに、いざ目標を達成すると、この地位からは絶対落ちたくないと思いました。そして今の地位に満足できない、どうしても勝ちたいという思いが強くなるほど、不安な気持ちで拭くために様々な技を磨きました。パワーでは勝てないことが分かっていたから、相手の勢いをいかに逃がすかという事を常に考え、「人と違うことをしないと勝てないぞ!」と自分に言い聞かせて土俵に向かっていました。

周囲からもう次は駄目だろうと言われる度に、いい意味で期待を裏切ってやろうと思いましたね。そんな反骨精神が私の原動力でした。

本当に相撲が好きなんだとつくづく実感しています。

……大相撲解説者としてのどのようなことを心がけていらっしゃるのでしょうか。

舞の海 NHKで大相撲中継の解説をさせていたので、今年で約13年になります。最初の頃は親方衆の顔が浮かんで、なかなか思ったことが言えませんでしたね。でも、いろいろと考えているうちに「お茶の間の皆さんに相撲を楽しんでもらえるような解説をしなくては!」と反省し、それからはできるだけ感じたことを思ったことを自分の言葉で分かりやすく伝えることを



協力：第一ホテル両国

舞の海 秀平 さん (大相撲解説者・スポーツキャスター)

- 1968年 青森県出身。中学、高校と相撲部に所属。
- 1986年 日本大学 経済学部に進学し、相撲部で活躍。
- 1990年 5月 大相撲出羽海部屋に入門。初土俵となる5月場所で幕下優勝に絡む大活躍をする。
- 1991年 3月場所、十両に昇進。四股名を本名の「長尾」から「舞の海」に改名。同年9月場所で入幕を果たす。その相撲センスと小柄な体格を活かした多彩な技で大型力士を倒し、「技のデパート」「平成の牛若丸」という異名を得る。その取り組みは多くの相撲ファンを魅了し、人気力士として活躍。
- 1994年 9月場所、小結に昇進。
- 1999年 11月場所を最後に引退。現役通算5度の技能賞を獲得。

引退後は NHK大相撲中継の解説者を長年務めると共に、テレビのスポーツキャスターやコメンテーターなど幅広く活躍している。

<著書>「土俵の矛盾 大相撲 混沌の中の真実」(2011年/実業之日本社)
<その他>

- 2003年 ベスト・ファーザー イエローリボン賞受賞
- 2000年~2001年 帝京大学非常勤講師
- 2011年~ 近畿大学経営学部客員教授



これから10年先、 自分がどんな相撲の魅力を 発見しているか、 それが楽しみです。



んで前代未聞の出来事、珍事として新聞にも大きく扱われてしまいました。大学の相撲部から大相撲の世界に入る人たちは身体が大きく、全国的に活躍した人たちがばかりで、検査項目に引っ掛かるなんて考えられないわけですよ。そんな力士の中で私は身長が足りなくも負けないことを証明したいと思っていました。それを実現するにはまず何として新弟子検査を通過しなくてはなりません。悩んだ末に、頭皮の下にシリコンを入れて身長を高くする施術を受ける決心をしました。まず手術で頭皮の下に袋を入れて、その袋に1ヶ月かけて注射器でシリコンを注入していきます。この間、激痛と吐き気で七転八倒しました。今考えるとよくそこまでやったと思いますが、当時は大相撲に入りたい一心で、わらをも掴む思いでした。この施術をしたお陰で次の新弟子検査に受かり、大相撲入りの願いが叶ったわけです。

反骨精神が私の原動力でした。

……様々な技を駆使して戦う姿に多くの観客が魅了されました。

舞の海 幕下からはじまって、まず3年で十両に上がる目標を立てたんです。それが5場所、1年足らずで十両に昇進し、予想以上の早さで目標を達成できました。しかし十両になった嬉しさよりも次の場所は自分



心がけています。
長年解説席から相撲を眺めていて、改めて相撲の面白さに気づいたことがあります。ひとつは力士の人間性が取り組みに現れるということです。勝敗や決め手だけでなく、人間観察の視点で相撲を見てみると、人間くさい力士の個性が垣間見えて違った楽しみ方ができます。もうひとつは他のスポーツや格闘技とは違う、伝統や神事に結びついた相撲の文化的な魅力です。行司の衣装や動き、呼び出しの動き、力士が仕切りを重ねていく仕草、全てに型があり、色彩豊かで絢爛豪華な様式美の世界があります。私も相撲の外の世界でいろんな経験を積み、年を重ねたからこそ気づいた相撲の魅力があります。そしてこれから10年先、自分がどんな相撲の魅力を発見しているか、それが楽しみです。

最近、自分は本当に相撲が好きなんだとつくづく実感しています。引退して世界がこれだけ広がっても、相撲以上に惹かれるものに出会っていません。人生の中でこれほど夢中になれるものに出会えたことはとても幸せなことです。

健康について気を付けていらっしゃることはあります。

舞の海 勝負に勝つため、現役時代は身体に負担をかけるようなことをたくさんしてきました。だからこそ引退後は健康管理をきちんとするべきなのでしょうが、これまであまり真剣に取り組んできませんでした。それでも食事は揚げ物を控えるなどの工夫をしています。運動は、相撲以外のスポーツにもチャレンジしてみましたが、なかなか長続きしなくて(苦笑)。たまにウォーキングをする程度ですね。年齢的にはちゃんと健康診断を受けて、自分の身体のことをチェックしておくかないといけないな、と考えています。

今後の抱負をお聞かせください。

舞の海 引退し、外から観客の反応を見ると、やはり大相撲は日本人にとって特別な存在なんだと感じます。大相撲が盛り上がり、日本人の楽しみがどれだけ増すことでしょう。そのためには力士たちは技を磨いて、考え、工夫し、白熱した取り組みを見せなくてはなりません。相撲の世界も時代の流れの中で様々な課題に直面していますが、知恵を絞りますが、しなやかに伝統を受け継いでいってほしいですね。そのためにも自分も少しはお役に立ちたいと思っています。